



青森県感染症発生情報 (2018年第42週)

I 第42週の発生動向 (2018/10/15~2018/10/21)

1. 手足口病については、五所川原保健所管内で**警報**が継続しています。
2. 伝染性紅斑については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
3. インフルエンザの迅速診断キットによる型別の報告は、A型15人、B型1人でした。

II 第42週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

	東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減 数
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科															
インフルエンザ			15	1.00	1	0.07							16	0.25	10
小児科	RSウイルス感染症	1	0.13	2	0.22	8	0.80	13	2.60	1	0.17		25	0.60	2
	咽頭結膜熱			3	0.33	3	0.30	1	0.20				7	0.17	3
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	2	0.25	1	0.11	9	0.90	2	0.40	5	0.83	6	25	0.60	-1
	感染性胃腸炎	30	3.75	8	0.89	25	2.50	6	1.20	8	1.33	10	87	2.07	5
	水痘					3	0.30			2	0.33		5	0.12	-3
	手足口病	12	1.50	5	0.56	10	1.00	13	2.60	12	2.00	3	55	1.31	-3
	伝染性紅斑	4	0.50									5	9	0.21	4
	突発性発しん	2	0.25	4	0.44	4	0.40	2	0.40	2	0.33		14	0.33	-4
	ヘルパンギーナ					2	0.20	1	0.20	4	0.67		7	0.17	-10
流行性耳下腺炎					6	0.60				11	1.83		17	0.40	8
眼科	急性出血性結膜炎														0
	流行性角結膜炎	1	0.50			1	0.50						2	0.18	2
基幹	感染性胃腸炎(ロウイルス)														0
	クラミジア肺炎														0
	細菌性髄膜炎					1	1.00						1	0.17	1
	マイコプラズマ肺炎			1	1.00	1	1.00	1	1.00			3	6	1.00	0
	無菌性髄膜炎														0

は警報、 は注意報。「空欄」:患者報告無し。

感染症の窓

腸チフス・パラチフス (三類全数把握対象疾患)

腸チフスはチフス菌 (*Salmonella Typhi*)、パラチフスはパラチフスA菌 (*Salmonella Paratyphi A*) の感染によっておこる全身性疾患です。本県で第42週に腸チフス1例が確認されました。

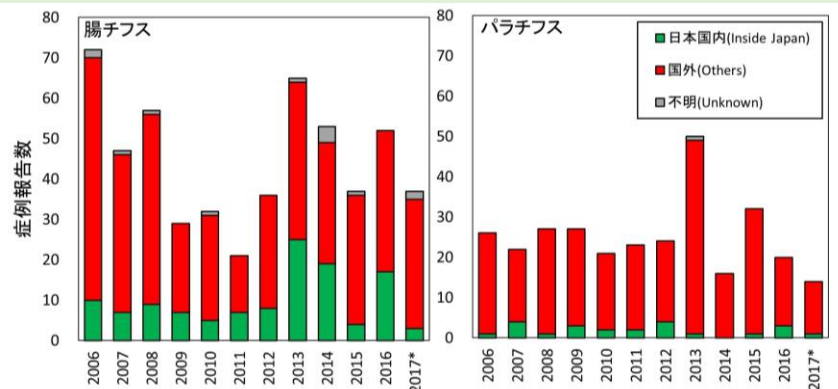
腸チフスとパラチフスの症状はほとんど同じですが、一般的にパラチフスのほうが症状が軽いといわれています。潜伏期間は7~14日で、その後38~39℃以上の高熱が続き、徐脈、バラ疹、脾腫、下痢などの症状を呈し、時に腸出血、腸穿孔をおこすこともあります。無症状病原体保有者はほとんどが胆のう内保菌者であり、永続保菌者となることが多いです。

感染者の多くは、東南アジアやインドなどの

流行地域への渡航者による輸入事例です(図)。チフス菌、パラチフスA菌は、患者や健康保菌者(ほとんどが胆のう内保菌者)の糞便に汚染された食品や水を摂取したり、汚染された手指を介することによって感染(経口感染)します。基本的な感染の予防は、食物を扱う前やトイレの後など徹底した手洗いです。

○詳しい情報はこちらをご覧ください

☞ [腸チフス・パラチフスとは\(国立感染症研究所HP\)](#)



*2017年は2018年1月5日時点暫定値。

図: 全国における腸チフス・パラチフス報告数 (2006年~2017年)

出典: 国立感染症研究所 HP

🔍 腸チフス 国立感染症研究所 検索



Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市 1 人 （2018 年計：159 人）
- ・腸チフス（三類全数把握対象疾患）：八戸市 1 人 （2018 年計：1 人）
- ・つつが虫病（四類全数把握対象疾患）：五所川原 1 人 （2018 年計：5 人）

Ⅳ 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日です。

手足口病患者（咽頭ぬぐい液、9/3）・・・エンテロウイルス 71 型及び HHV7：弘前 1 人
 RS ウイルス感染症患者（咽頭ぬぐい液、鼻汁、8/24～9/2）・・・hRS ウイルス：むつ 1 人、ヒトパラインフル
 エンザウイルス 1 型：弘前 1 人、ヒトパラインフルエンザウイルス 3 型：むつ 2 人
 無菌性髄膜炎患者（鼻汁、8/27～8/30）・・・コクサッキーウイルス A10 型、hRS ウイルス A 及び HHV6B：
 むつ 1 人、ヒトパラインフルエンザウイルス 3 型及び HHV6B：むつ 1 人
 風しん疑い患者（全血、8/29）・・・HHV6B：弘前 1 人
 インフルエンザ患者（鼻汁、10/3）・・・インフルエンザウイルス AH1pdm09：弘前 1 人

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2018 年第 39 週～2018 年第 42 週）

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
39	H30.9.24 ~ H30.9.30		梅毒1人	梅毒3人	腸管出血性大腸菌 感染症1人		百日咳1人
40	H30.10.1 ~ H30.10.7		百日咳2人		腸管出血性大腸菌 感染症1人	百日咳1人	
41	H30.10.8 ~ H30.10.14	腸管出血性大腸菌 感染症1人	梅毒1人 百日咳4人	バンコマイシン耐性 腸球菌感染症1人			百日咳1人
42	H30.10.15 ~ H30.10.21			腸チフス1人	つつが虫病1人		

・第 41 週に弘前保健所管内で梅毒 1 例の届け出がありましたので追加しました。

Ⅵ 結核(二類全数把握対象疾患) (2018 年第 39 週～2018 年第 42 週) (人)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
39	H30.9.24 ~ H30.9.30	1				1	
40	H30.10.1 ~ H30.10.7	1	1	1	1	1	1
41	H30.10.8 ~ H30.10.14	2	1	1	1	1	
42	H30.10.15 ~ H30.10.21	1					

・第 41 週に五所川原保健所管内で結核 1 例届け出がありましたので追加しました。

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2018年第1週～2018年第41週までの累計）

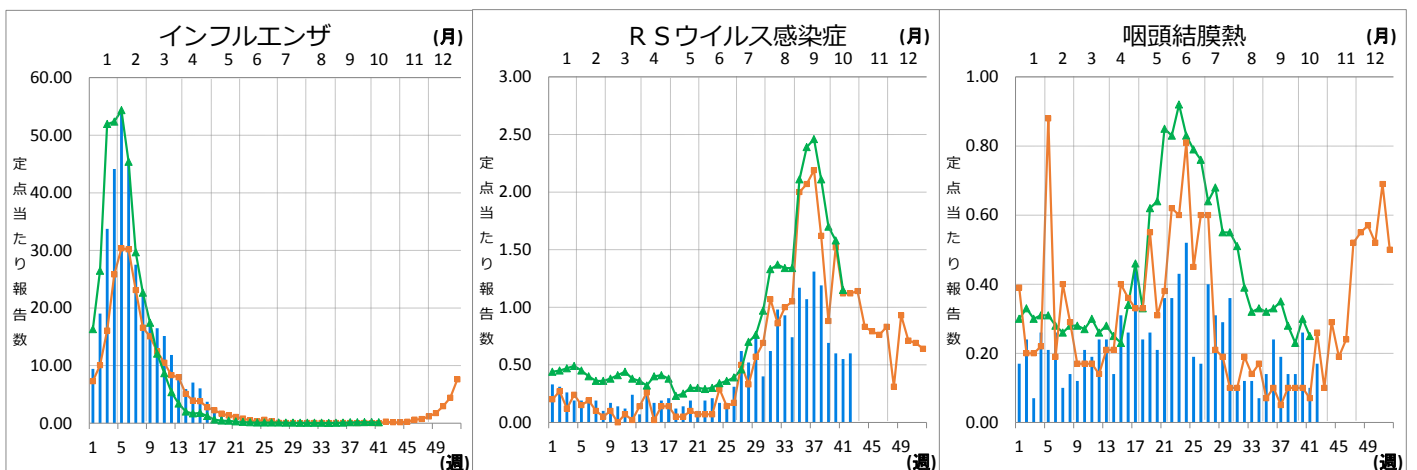
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокウス症	オウム病
累積報告数	16955	3	127	3386	29	19	357	815	10	6
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	Q熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症
累積報告数	5	3	2	68	1	3	99	150	237	3
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺
累積報告数	2	41	11	2	1713	24	656	187	1651	55
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）
累積報告数	527	12	164	552	1014	58	377	28	2509	335
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症		
累積報告数	5365	140	101	62	7574	1289	232	19		

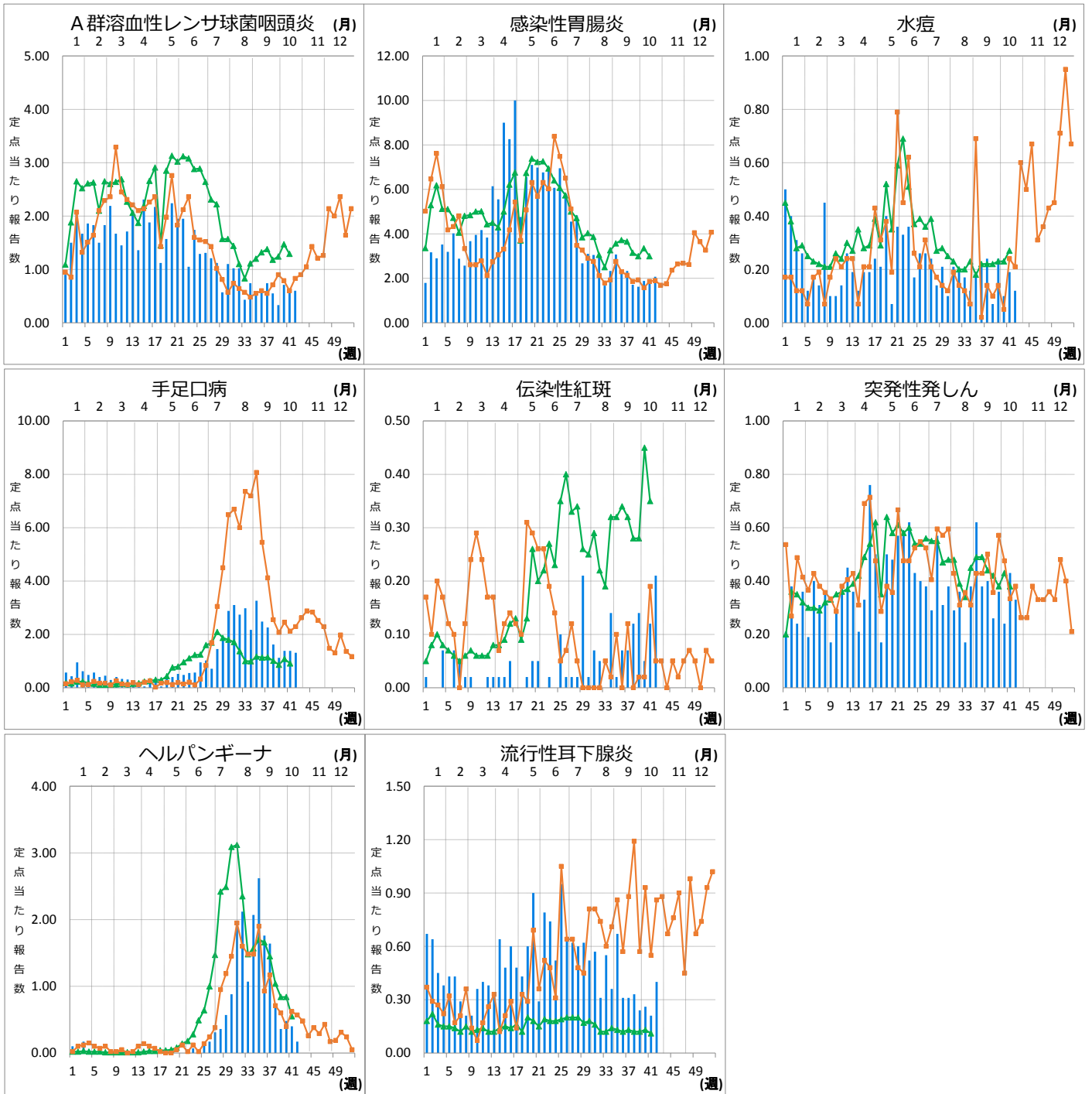
青森県（2018年第1週～2018年第42週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症
累積報告数	159	3	32	1	1	1	5	6	2	20
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症
累積報告数	1	3	4	4	1	12	4	30	1	5
分類	五類									
疾病名	百日咳									
累積報告数	50									

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2018年第42週、ただし全国は前週）

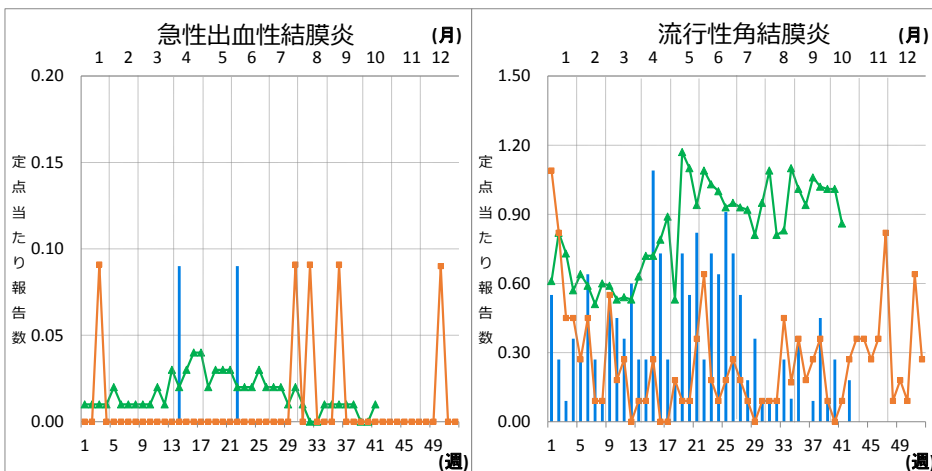
グラフの説明 ← は2018年青森県、■は2017年青森県、▲は2018年全国





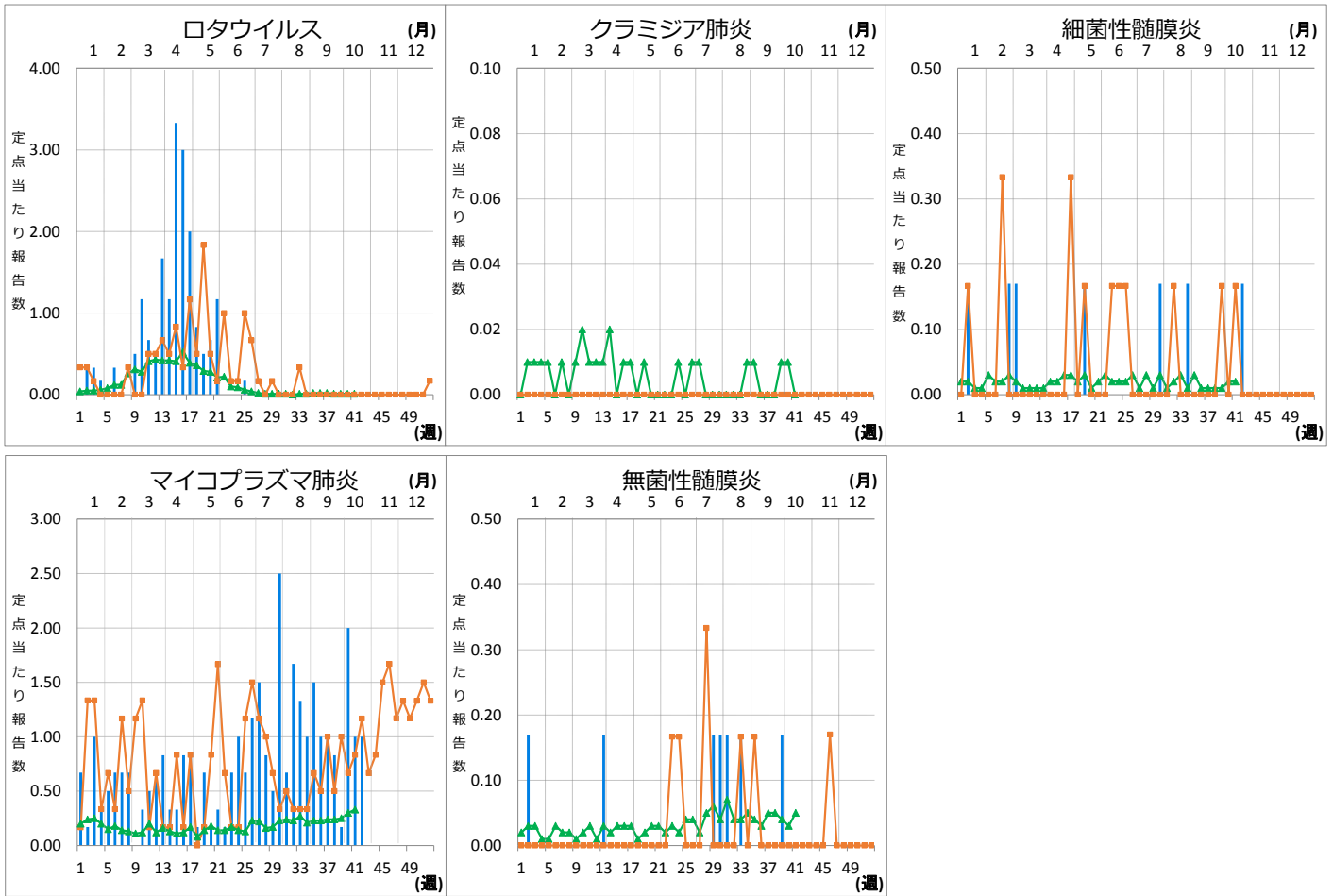
Ⅸ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2018年第42週、ただし全国は前週)

グラフの説明 —■— は 2018年青森県、 ■—■ は 2017年青森県、 ▲—▲ は 2018年全国



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2018年第42週、ただし全国は前週）

グラフの説明 —は2018年青森県、■—■は2017年青森県、▲—▲は2018年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成30年第42週

報告はありませんでした。

平成30年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18-21週	22-25週	26-30週	31-34週	35-39週	40週	41週	
介護・老人福祉関係施設	件数	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	発症者数	34	0	36	0	0	0	0	0	0	0	0	70
児童・婦人関係施設等	件数	0	0	0	4	2	2	0	0	0	0	0	8
	発症者数	0	0	0	56	21	28	0	0	0	0	0	105
障害関係施設	件数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	22	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	3	1	2	4	2	2	0	0	0	0	0	14
	発症者数	56	15	36	56	21	28	0	0	0	0	0	212